

第15回臨床教科教育学セミナー2016のご案内

- 1 主催 臨床教科教育学学会
- 2 期日 平成29年1月7日(土)
- 3 会場 信州大学教育学部(〒380-8544 長野市大字西長野6-ロ)
北校舎N101, N102, N103, N104各講義室
- 4 日程(予定)
 - 8時30分～9時00分 受付
 - 9時00分～10時00分 自由研究発表
 - 10時00分～10時10分 休憩
 - 10時10分～11時10分 自由研究発表
 - 11時10分～11時20分 休憩
 - 11時20分～12時20分 自由研究発表
 - 12時20分～13時20分 昼食, 休憩
 - 13時20分～14時20分 ワークショップ(算数, 社会, 特別支援)
 - 14時20分～14時30分 休憩
 - 14時30分～15時50分 自由研究発表
 - 16時20分～17時50分 懇親会(教育学部生協食堂)

5 発表申し込み

(1) 研究発表は, 自由研究発表のみとします。

発表者は会員に限ります。1発表のみです。会員については, 本年度までの学会費を11月30日までに納入していることが要件です。新たに学会に入会し発表される方は, 発表申し込みと並行して次の臨床教科教育学学会事務局に入会手続きをお取りください。

本学会ホームページ(<http://www.rinkyokyo.com/>)上にある“入会手続き”に, 入会手続きの詳細を記載しています。

(2) 自由研究発表及び発表要項の原稿送付方法

発表を希望される方は, 発表の申し込みと同時に発表要項の原稿も添付ファイル(pdfのみ)にて送付してください。申し込みの書式は自由ですが以下の事項をお書きください。発表予稿集の原稿の形式は「12 発表予稿集の原稿の形式」をご参照ください。11月30日(水)必着にて電子メールでご連絡ください。

(件名)「【セミナー2016】発表申込」としてください。※参加申込を同時にされる場合には, 「【セミナー2016】発表申込・参加申込」として, 「6 参加申し込み方法」の事項を合わせて記入してください。

- ①「発表者氏名」
- ②「発表題目」
- ③「発表者所属」
- ④「発表者連絡住所」
- ⑤「発表者連絡先電話番号」
- ⑥「発表者連絡電子メールアドレス」
- ⑦「懇親会参加の有無」
- ⑧「発表原稿」は添付してください。(pdfのみ) ※ページは入れないでください。

※12月1日以降の原稿の差し替えはできませんのでご留意願います。

発表申し込み・発表要項の原稿送付先 電子メール: rinky_2016@yahoo.co.jp

(3) 発表形式等

- ・「自由研究発表」は発表15分, 質疑3分, 準備・後片付け2分で行います。

- ・発表時に使用できる機器は、液晶プロジェクターとスクリーンのみです(すべての発表会場)。
- ・コンピュータは各自ご持参ください。セキュリティ上のトラブル及び個人情報漏洩の未然防止のため、実行委員会では用意できませんのでご注意願います。
- ・入力ケーブルはアナログ VGA 仕様 (D-SUB15 ピン) です。
- ・HDMI 等の出力端子のパソコンをご使用の場合は、発表者自身で変換アダプタをご準備ください。実行委員会では用意できませんのでご注意願います。
- ・Mac (iPad を含む), Microsoft surface, タブレット, ミニノート等をご使用の場合は、発表者自身で VGA ディスプレイアダプタをご持参ください。実行委員会では用意できませんのでご注意願います。
- ・ソフトウェア (Word, PowerPoint, Acrobat 等) のバージョンにより、表示がずれる場合があります。
- ・実行委員会ではコンピュータを用意できませんのでご了承ください。
- ・コンピュータから音声を出力する場合は、発表者自身でスピーカーをご持参ください。実行委員会では用意できませんのでご注意願います。
- ・有線・無線ともインターネットにアクセスできる環境は用意されておりません。必要な場合は Wi-Fi ルータ等を各自ご持参ください。実行委員会では用意できませんのでご注意願います。
- ・すべての発表会場はマイクを必要とする広さではありません。
- ・発表の日時の指定はご遠慮ください。発表時間等に関するご要望等についてはご希望に添うことはできません。

6 参加申し込み方法

参加を希望される方は、12月12日(月)必着にて電子メールでご連絡ください。書式は自由ですが、以下の事項をお書きください。(当日受付も可能ですが、人数把握のため、できるだけ、〆切日までに申し込んでください。) 発表される方も必ず参加申込をしてください。

(件名)「【セミナー2016】参加申込」としてください。

- ①「参加者氏名」
- ②「参加者所属」
- ③「参加者連絡住所」
- ④「参加者連絡先電話番号」
- ⑤「参加者連絡電子メールアドレス」
- ⑥「ワークショップへの参加の有無」(「算数に参加」「社会に参加」「特別支援に参加」「参加しない」の中から一つ選んで記述してください)※およその人数把握のためです。
- ⑦「懇親会参加の有無」
- ⑧「臨床教科教育学会所属の有無」

参加申し込み 電子メール: rinkyo_2016@yahoo.co.jp

7 参加費

学会員：2,000 円 (平成 28 年 11 月 30 日までに学会費等を納入し、入会手続きが完了していること。), 非学会員 (大学院生, 一般)：3,000 円, 懇親会費：3,000 円です。ただし, 大学生は無料 (資料なし) です。資料を希望される場合は資料代 2,000 円です。全て, 当日の受付にて参加費, 懇親会費を集めさせていただきます。

	学会のみ参加	学会+懇親会参加	
1. 学会員	2000 円	5,000 円	
2. 非学会員(院生, 一般)	3000 円	6,000 円	
3. 大学生	無料(資料なし)	3,000 円	資料ご希望の場合 2,000 円

※お釣りのいらないうちにご準備願います。

※懇親会に事前申込される場合, 12 月 13 日以降のキャンセルができませんので予めご了解願います。懇親会に事前に申し込みされた方で当日欠席となった(会場にお見えにならなかった)場合, 後日, 実行委員会の指定する銀行口座に 3,000 円を送金いただくこととなります(手数料は自己負担)。

8 派遣申請

派遣申請書をお求めの方は、「宛先」、「所属校(機関, 事業所)名」、「派遣者氏名」を明記の上, 第 15 回臨床教科教育学セミナー 2016 実行委員会まで電子メールにてご連絡ください。なお, 第 15 回臨床教科教育学セミナー 2016 実行委員会で旅費等の負担はできません。

9 問い合わせ先

第 15 回臨床教科教育学セミナー 2016 実行委員会 電子メール: rinkyo_2016@yahoo.co.jp

詳細が決定し次第, 最新情報をホーム・ページ上に掲載します。http://www.rinkyokyo.com/

お問合せ, ご質問は,

(件名)「【セミナー2016】問い合わせ」としてください。

[1]お名前

[2]ご所属

[3]連絡先電子メールアドレス

[4]お問い合わせ内容

上記を記入した電子メールを, 実行委員会 (rinkyo_2016@yahoo.co.jp) 宛にお送りください。

10 交通・宿泊・昼食・荷物預かり所案内

(1) 交通案内

○徒歩ですと, JR 長野駅善光寺口から約 25 分(緩やかな登り)です。

○自家用車ですと, 上信越自動車道の「須坂長野東」インターチェンジから約 30 分, 「長野」インターチェンジから約 25 分です。(本学部には約 80 台の無料駐車場があります)

○バスをご利用の場合

・JR 長野駅善光寺口バス停 1 番乗り場から, 川中島バス「善光寺経由宇木行」, 「善光寺・西条経由若槻東条行」, 「善光寺・若槻団地経由若槻東条行」のいずれかに乗車(10 分)し, 「大門南」下車, 徒歩 5 分です。

・JR 長野駅善光寺口バス停 4 番乗り場から, 長野市循環バス「ぐるりん号」に乗車(10 分)し, 「信大教育学部前」下車, 徒歩 1 分です。後払いで 1 回の乗車につき, 大人一人 150 円です。

(2) 宿泊案内

JR 長野駅周辺に複数のホテルがあります。実行委員会では斡旋をしておりませんので, 各自でご予約をお願いします。

(3) 昼食案内

当日は生協食堂・売店は営業しません。昼食販売はしませんので各自でご用意ください。持参された昼食は発表会場でお取りいただくことができます。ただし, 昼食に伴うごみはお持ち帰りください。ISO に取り組む本学でのゴミ削減にご協力をお願いします。

(4) 荷物預かり所等の案内

荷物預かり所, 託児所はありません。

11 第15回臨床教科教育学セミナー2016実行委員会

〒380-8544 長野市大字西長野 6-ロ 信州大学教育学部三崎研究室気付

臨床教科教育学会第 15 回臨床教科教育学セミナー 2016 実行委員会事務局

実行委員長: 三崎隆

12 発表予稿集の原稿の形式

(原稿例)

〇〇条件の提示による〇〇時の〇〇概念の意識変容に関する研究

〇臨 床介 (〇〇大学大学院)
投稿 例子 (〇〇大学)
(rinkyokyo@rinkyokyo.com)

要約

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における〇〇を取り入れた授業についての教師の意識を明らかにすることである。第2は、既習前に〇〇条件 (〇〇的〇〇を生じさせる条件) の提示による〇〇効果、〇〇効果 (〇〇度と〇〇的影響) を意識変容から検討することである。第3は、既習前に〇〇条件を提示することが、〇〇として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

キーワード：学び合い、人間関係、意識変容

I 問題の所在

最近の〇〇教育では、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に問題解決できる能力が求められている。特に後者の点については、学習者に〇〇がおかれる〇〇的〇〇が〇〇される授業を構築しなければならない。現在まで、〇〇的〇〇が生じることにより〇〇的〇〇がなされ、〇〇効果につながる例が多く報告されている。〇・〇〇(1994)は、〇〇概念を通して〇〇提示における概念変容の研究を行った¹⁾。それによると、事象をうまく〇〇できないときに〇〇的〇〇が生じ、その〇〇のために概念変容が起こると捉えている。つまり、概念〇〇〇〇である。

II 研究目的

本研究では、〇〇を解明することを目的とする。

III 研究方法

注意事項

1. 原稿はA4版2枚とする。
2. タイトルはゴシック体14pt太字で、中央寄せにする。
3. 研究者名(所属校名)は明朝体12ptで右寄せにする。共同研究者、連絡先のアドレスについても同じ。
4. 要約は簡潔にまとめ、1行開けてキーワードを5語以内とする。1行開けて見出しを書き始める。
5. 見出しはゴシック体10.5pt太字で、

前文との間を1行開ける。

6. 本文は2段組、文字数22字、行数43行とし、明朝体10.5ptで仕上げる。
7. 余白は上下25mm、左右20mmとする。
8. 各引用箇所には、1)、2)、3)の順に右上付けで、番号を入れる。

引用文献

- 1) 〇〇・〇〇：「〇〇提示における生徒の概念の変容－〇〇を事例とした〇〇概念に関して－」、〇〇学会研究紀要, Vol. 〇〇, 1994.

注意事項

著者名：「論文名」、雑誌名、巻、頁、発行機関
または発行所、発行年。
著者名：「単行本」、頁、発行所、発行年。